

組 織 会 長	鎌 田 悟 (太平中学校)	築 地 洋 (秋田南高校中等部)
副 会 長	榎 実和子 (御所野小学校)	渡 部 英 明 (勝平小学校)
事 務 局	菊 地 有希子 (大住小学校)	大 野 由加里 (旭南小学校)
	鎌 田 政美 (土崎中学校)	齋 藤 未 樹 (御野場中学校)
幹 事 中	尾 裕 子 (御所野学院中学校)	
会 計	伊 藤 知佐子 (将軍野中学校)	

主な事業

美術鑑賞研修会 「明治有田 超絶の美
万国博覧会の時代」展
(秋田市千秋美術館/5月17日)

大森山動物園
第39回 親と子のふれあい写生大会
(大森山動物園と共催/7月22・23日)

秋田県児童生徒美術展 秋田市審査
(土崎中学校/12月2日)

クロッキー巡回展 : 市内各小学校
(審査: 保戸野小学校/12月26日)

研究会の記録

- 全市一斉授業研究会 (中学校) 10/18 (水) 雄和中学校 菊地 篤 先生

題材名 「想いを届ける紙芝居 ～コミュニケーションをデザインしよう～」 (3年生)

中学生が小学生に手作りの絵本を作って読み聞かせしてあげようという発想が素晴らしかった。卒業を前にした中学3年生の生徒たちが考えた紙芝居のストーリーには、後輩である小学生に伝えたいメッセージが込められていた。生徒たちは、相手の学年や年齢を想定しながら、思いが相手に伝わるような形や色を考えながら絵を描き、絵を描きながらストーリーを練り直すなど、試行錯誤しながら活動していた。導入で、喜怒哀楽の表情を簡単な絵で表したり、授業の途中ではプロの絵本作家の技に目を向けさせたりするなど、「相手に伝えるためには何が大切か」を意識させるための教師の工夫が凝らされていた。

- 全市一斉授業研究会 (小学校) 11/8 (水) 四ツ小屋小学校 小野 哲 先生

題材名 「まあいつつを チョキチョコキ ガッチャン」 (2年生)

彩色した紙の筒を自由にはさみで切り、ベニヤ板にホチキスで接合しながらその形や色から発想して絵や立体に表す題材であった。主材料はトイレトペーパーで、扱いが容易な割に強度があり多様な表現が可能であるなどの特徴をうまく生かした活動であった。子どもたちは、切り開いた時のことを考えて筒の両面に着色したり、はさみで細く切ってできたばねのような形から自由に発想を広げたりして意欲的に取り組んでいた。さらに思いつくままホチキスでベニヤ板の上に紙を貼り付けながら、表現を膨らませる姿が見られた。また、困った時はお互いに助け合って活動したり、友達とのかかわりの中で、友達の表現に刺激されて新たな表現が引き出される場面もあった。



- 水曜研修会 2/7 (水) 秋田市教育研究所
全国大会に向けて指導案の発表 意見交換

全国大会の授業者から授業の内容や大まかな構想を聞いた後、グループごとに分かれて話し合いをした。「授業をよりよいものにするためには」という思いで、忌憚のない意見を活発に出し合うことができた。素材や道具、技法などの具体的なアイデアも出されるなど、充実した話し合いになった。